



梅雨に入り、雨に濡れた木々の葉がキラキラと輝いて思わず目を留めることがあります。敬愛幼稚園の子どもたちは、身近なところでたくさんの自然に触れています。四葉のクローバー探しや麦の実取りに夢中になる子、虫網を持って蝶やトンボを追いかける子、手のひらにたくさんのダンゴムシを載せて喜んでいる子、水たまりの中でどろんこ遊びをしている子など園庭のあちらこちらに目を輝かせている子どもがたくさんいます。昨年度まで科学的環境を整えることを研究のテーマに掲げて様々な取り組みをしてきたことが功を奏しているのだと実感しています。

今年も年長組の保育室に上がる階段の頭上に燕が巣をつくりました。6月上旬に一度巣が壊れてしまいましたが、再度、燕が巣作りをして4個の卵から可愛いひなが生まれました。子どもたちはひなが日に日に大きくなる姿に喜びを感じつつも、毎日せっせと餌やりをする親燕の姿を目にして「お父さん、お母さんは大変だね」とつぶやいていました。自然からいろいろなことを感じているようです。

子どもは花や虫とすぐに友だちになりますが、私たち大人はどうでしょうか？山や川に行ったりフレッシュできれば最高ですが、なかなかそうもいきません。忙しい日々の中で、目の前のことに頭がいっぱいになってしまいがちです。そんな時は立ち止まって大きく深呼吸をしてみてください。遠くに行かなくてもいいのです。近くの公園に出かけて、目に触れる木や花など小さな自然を感じてください。心が軽くなって、ゆったりとした気持ちでお子さんに向き合えるのではないのでしょうか。もうすぐ夏休み、親子で自然に触れる機会を計画してみるのも良いですね。

園長 和田 由美



♥ ひとことメッセージ ♥

・親子で身近な自然に触れて、開放感や喜びを味わいましょう。

	今月のねらい	今月のうた♪
年少	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちといろいろな遊びを楽しむ ・季節を感じ、夏の自然に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・みずあそび ・きらきらぼし
年中	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なことや自分の要求を言葉で表現しようとする ・夏の自然にふれ、関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・みずあそび ・たなばた
年長	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと互いに思いを伝えたり聞いたりして、遊びを進める ・夏の自然に興味を持ち、遊びや生活に取り入れて楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・たなばた ・あいすくりーむのうた

